

平成23年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	34		学校名	県立常北高等学校				課程	全日制		学校長名	堂 英 夫				
教頭名	宮 田 和 志								事務(室)長名	栗 林 長 武						
教職員数	教諭	12	養護教諭	1	常勤講師	4	非常勤講師	3	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	3	計	29
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計	クラス数		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		30	24	42	23	25	17			97	64	161	6		
	科															

2 目指す学校像

創立以来48年の歴史と伝統に基づき、校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	高校生の基礎学力向上をサポートする学習内容が多い。	教員の授業力向上を図りながら、基礎学力を身に付けさせることと生徒の達成感の向上を図る必要がある。
進路指導	平成22年度の進路状況（卒業生49名）は、進学15名、就職33名、その他1名であり、進路指導が一層必要な状況である。	進路指導の充実を図るため、進路指導の充実を図る必要がある。
生徒指導	生活態度の生徒が大半だが、一部の生徒に基盤的習慣や規範意識の欠如が見られる。挨拶の場や授業開始時の挨拶指導などを行う必要がある。	授業開始時に頭髪・服装指導を行い、好ましい学習環境づくりを行うとともに、自立に向けた基本的な生活習慣の育成を図る必要がある。
特別活動	1年生の1学期全員部活動加入で活性化を図っている。また、共同宿泊学習や修学旅行によって協調性を育む必要がある。	1年生を含む部活動を全教員で指導し、放課後の活動を充実させるとともに、生徒の協調性や積極性を育てるホームルーム活動を行う必要がある。

4 中期的目標

1	学校行事を精選し、授業時間を確保する。	1時間、1時間の授業の充実を図る。
2	授業や特別活動等を通じ、心身の健康を促す。	1時間、1時間の授業の充実を図る。
3	挨拶の励行を促す。	1時間、1時間の授業の充実を図る。
4	部活動への加入を促進し、国際理解教育を推進する。	1時間、1時間の授業の充実を図る。
5	国際理解教育を推進し、国際社会に生きる力を養う。	1時間、1時間の授業の充実を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 学力の向上	① 綿密なる教材研究を行い、積極的に公開授業をするなどして、よりよい授業を展開する。 ② シラバスを活用して学習意欲の喚起を図り、計画的・継続的な学習をさせる。 ③ 高校基礎学力を定着させ、学力向上サポートプランや少人数習熟度別授業を有効に活用して、
2 基本的な生活習慣の確立	④ 頭髪・服装や遅刻防止の指導を徹底して、基本的な生活習慣を確立させる。 ⑤ 登下校時の授業開始・終了時、校内での挨拶を徹底させる。 ⑥ 3年生3回理解に努めた。計画的な進路指導を徹底して、基本的な生活習慣を確立させる。
3 希望する進路の実現	⑦ 3年間を見通した計画的な進路指導を実践する。 ⑧ キャンパス・職場見学、インターンシップ、各種講演会等により進路意識を高
4 特別活動及び部活動の活性化と豊かな人間性の涵養	⑨ 学力向上の取り組みや資格取得の奨励を通して、より確かな進路実現を目指す。 ⑩ 学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動を通して、生徒の積極性を引き出す。 ⑪ 生徒の部活動への積極的な参加を促して、望ましい人間関係づくりと充実した
5 地域から信頼される学校づくりの推進	⑫ 放課後の生徒の命を尊重し、他を思いやる心を育て、豊かな人間性を培う。 ⑬ 地域へのシヤ地域広報誌、学校新聞等のPR手段を十分に活用して、保護者 ⑭ 学校評議員や地域中学校等の意見を取り入れ、地域と連携した教育活動を展開 ⑮ 学校公開を計画的に実施して、本校に対する地域の理解促進を図る。